

東邦大学におけるリカレント教育に関する中期事業計画

1. 東邦大学におけるリカレント教育推進方針：

少子高齢化、高度情報化、技術化、国際化など社会の急激な変化によって生ずる諸問題に対して主体的に考え行動していくため、社会は生涯を通じて高度な教養と技術を学習する機会を求めている。このような要請にこたえるべく、東邦大学は、自然科学系総合大学としての教育・研究活動の成果を、地域社会、市民、専門職業人に提供することにより、生涯にわたって人が学び続け、時代への主体的対応を行っていくことを支援する。また、これらの取組は、大学による社会貢献活動であるとともに、大学にとって、多様な社会人との接点を通じた教育・研究活動の向上、自治体・産業界等との協力・連携の強化に資する貴重な機会となる。

以上から、社会の要請および社会人の学ぶ意欲に的確に応えるため、適時に社会のニーズを把握し、各種施策の強化・拡充を図るとともに、情報へのアクセスが容易となるよう、広く公表・周知し、社会人のワークキャリア・ライフキャリアの向上に資する多様なリカレント教育等の社会人学び直しに関する取組を推進していく。

2. 事業期間：

令和 5 (2023) 年度～令和 7 (2025) 年度

3. 事業計画：

【実施】

本学が養成課程を擁する各種専門職に関する領域をはじめとした、自然科学系総合大学としての教育・研究活動で得られる知見に基づく分野において、それらの知見を社会に還元するため、社会人学び直しに関する以下の取組を行う。

①アップスキリングに関する施策

修士課程、博士課程、長期履修制度、科目等履修制度、その他専門職対象とした認定講習等を通して、さらなる知識・技能や、時代のニーズに則して新たに求められる能力・スキルを身に着けるためのプログラムを実施する。

②リススキリングに関する施策

履修証明プログラム等を活用し、自治体等の社会のニーズを踏まえた社会人教育プログラムを実施する。

③職業に結びつかない技術・教養の獲得を支援する施策

広く一般を対象とした社会貢献として公開講座等を通じて、職業に直接結びつかない技術・教養を獲得するための場を提供する。

【企画・評価・改善】

毎年度のプログラムの企画にあたっては、自治体・関連団体等のニーズおよび過年度受講生からのフィードバックの把握に努めるとともに、それらに基づく検討を行う。

【評価指標 (KPI) および目標値】

- ・ 社会人への学位授与数 (大学院) : 120 名以上 (2023～2025 年度累計)
- ・ 履修証明プログラム履修者数 : 10 名以上 (2023～2025 年度累計)
- ・ 公開講座の開講数 : 40 回以上/年 (2025 年度時点)
- ・ ニーズ把握のための自治体等への意見聴取 : 1 回以上/年 (2023～2025 年度)

以上